

～ 「現役大学生が企業を採点！合説プレゼンフィードバック大会」 ～

活動の様子



企業へのプレゼン①

取り組む課題

2022年12月に就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)が主催するインターンシップ合同企業説明会に参加した対象企業のブースで説明を聞いた前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生が、学生目線でブース説明をよりよくするための提案を行うことが今回のイベントの主題であり、合同企業説明会参加企業に対して改善点を提案する以上、学生からの説明もよりわかりやすくする必要がありましたので、提案内容を考える点と、その内容を相手にわかりやすくプレゼンテーションを行う点の2点が前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生にとっての課題でした。



企業へのプレゼン②

本学(学生)の役割

インターンシップ合同企業説明会に参加した対象企業のブースで説明を聞いた学生が、忖度・遠慮一切なしで企業を評価し、学生目線でブース説明をよりよくするための提案を行うことが前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生の役割でしたが、その中でも、こちらの感じたことを、ただ説明するだけではなく、説明を聞いた企業の採用担当者の方が、こちらの提案を取り入れて、今後の自社の説明会の内容を改善しようと考えてもらえるような内容を提案することが、前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生の大きな役割だったと考えています。

企画・活動概要

就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)が主催するイベント「現役大学生が企業を採点！合説プレゼンフィードバック大会」に前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生が参加する企画です。企画の内容は事前にインターンシップ合同企業説明会に参加した対象企業のブースで説明を聞いた学生が、忖度・遠慮一切なしで企業を評価し、学生目線でブース説明をよりよくするための提案を行うものです。今回のフィードバック大会は、対象企業9社に対して、5分間のプレゼンテーションを行いました。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

活動結果: 今回のプレゼンテーションが終了後、参加企業の採用担当者からは「こちら(企業側)には無い視点の意見だったので、大変ためになりました。今後の採用活動のヒントがたくさんあったので、活用できればと思います。」などの意見をいただきました。
学生が成長した点・学生が身につけた能力: 緊張する場面(企業の人事担当者の前)で伝えたいことをプレゼンテーションする経験を通して、プレゼンテーションの準備(周りの人の意見を取り入れながら、何度も修正すること)の必要性や相手(合同企業説明会参加企業)の視点を考えることが出来た点が成長した点だと感じました。



企業へのプレゼン③

経緯・背景・目的

就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)が主催するイベントに参加する両者の目的は以下の通りです。学生視点のフィードバックは普段は聞くことができない意見であり、合同企業説明に参加する企業に学生への訴求力を高める気付きを与えることになり、そのことで、はりまっち(株式会社ダイネンヒューマンplus)は顧客(合同企業説明会参加企業)へのサービス向上につながる点、また、前川ゼミ(研究演習Ⅰ 2年生ゼミ)の学生は、プレゼンテーション能力向上や、企業を見る目を養うことができる点がそれぞれの目的になります。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
人間健康学科
准教授
前川 明(マエカワ アキラ)

<専門・担当科目等>
キャリア教育、キャリアデザイン、就職支援

<関係者・企業等>

株式会社ダイネンヒューマンplus
桜井 透(サクライトウル)